



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 活動概要

#### 目的 「いつまでも続く未来ある社会を実現していく能力の育成」

- (1) 自然環境の良さや地域に生きる人の努力・知恵に気づき、守り育てようとする気持ちや態度を養う。
- (2) 地域や関係機関と連携しながら栽培活動を探求的な視点で学び問題解決能力を育成する。
- (3) 自らの活動を外に広く発信し、交流することによって地球規模の意識を深め国際的な視野を広げる。

#### 実施概要

子ども達は校舎横の広い農園で思い思いの野菜を栽培しています。春には一人一人が課題を設定し必要なことを主体的に調べ地域の方々にもアドバイスをいただきながら栽培計画を立てます。種まきから収穫まで連続した活動の中で植物の生長を通して多くのことを学びます。収穫した野菜は家に持ち帰ったり学校で調理してみんなで味わったり「収穫祭」を楽しんだりします。また、課題を探求しながら生活科や総合的な学習の時間を理科や社会、道徳などに関連させて調べたことをまとめ、秋に行われる学校祭の中で小学1年生から中学生までそれぞれその年の「栽培学習のまとめ」を大きなスクリーンに映しながら発表し保護者や地域の方々にも見ていただきました。

また、今年度は収穫祭や栽培学習を見直し、小中合同で行いました。収穫祭に中学生が加わったことで、たくさんのメニューが体育館に並び大盛況で保護者や地域の方々に感謝の気持ちを伝えることができました。

## 農園栽培学習

子ども達は広い農園で思い思いの野菜を栽培します。種蒔きから収穫まで連続した活動の中で植物の成長を通して多くのことを学びます。また、地域の方から農園の耕耘やハウス設営など環境整備のご協力や畝の作り方・苗の植え方のアドバイスを頂きます。保護者の方もお手伝いして下さり子ども達の活動を支えて下さっています。



# 収穫祭

4月、縦割り班を結成。5月、保護者や地域の方に教えていただきながらの苗や植え。6・7月と暑い中での水やり。8月になると畑のキャベツやキュウリなどの収穫が始まり、9月は収穫したジャガイモや薩摩芋など旧校舎に保存。学校祭が終わってよいよ畑も終盤。最後の作物を収穫し後片付けの10月。そして先生方の助力も収穫祭を迎えました。収穫祭では地域の方や保護者の方に山花産の美味しい野菜で作ったカレーやシチューなど沢山の料理が振る舞われました。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）